

各位

上場会社名 株式会社 幸楽苑
代表者 代表取締役社長 新井田 傳
(コード番号 7554)
問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 武田 典久
(TEL 024-943-3351)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年9月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,912	2,143	2,174	823	50.64
今回発表予想(B)	35,584	2,433	2,477	1,087	66.91
増減額(B-A)	671	289	302	264	
増減率(%)	1.9	13.5	13.9	32.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	34,264	1,778	1,738	519	31.96

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,871	2,071	2,127	782	48.15
今回発表予想(B)	35,531	2,312	2,381	1,005	61.84
増減額(B-A)	660	241	253	222	
増減率(%)	1.8	11.6	11.9	28.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	34,220	1,652	1,632	417	25.65

修正の理由

当社グループは、『既存店の活性化』を最重要課題とし、店舗従業員への調理資格制度(マイスター制度)導入による各種マイスターの育成やサービス体制見直しによる商品提供時間の短縮に取り組み、店舗QSCレベルの向上につなげてまいりました。また、地域・店舗特性に応じた販売促進・メニュー導入等の諸施策を実施し、新規顧客の獲得に努めてまいりました。さらに、ES(従業員満足度)=CS(顧客満足度)と考え、当期より店長以上の管理職に対する年収底上げを実施したことにより、従業員のモチベーションが大幅にアップし、店舗レベルの向上につながっております。

これらの諸施策により、厳しい経営環境を踏まえ、下期は既存店売上高を前年対比1.7%のマイナスで計画しておりましたが、前年対比2.9%のプラスを達成いたしました。下期新規出店は6店舗の計画に対して5店舗となりましたが、既存店が好調に推移したことから、売上高につきましては、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の増加に加え、原価率及び販管費率が改善されたことから、前回発表数値を上回る見通しです。原価率につきましては、主要食材であるチャーハンの内製化等により下期計画は前期比で0.8%の改善を見込んでおりましたが、これに加えて、小麦粉等の原材料仕入価格が想定以上に下落したことから、さらなる改善が見込まれる状況になりました。販管費率につきましては、下期計画に対して、売上高増加に伴う店舗人件費増やガス単価上昇等の悪化要因がございましたが、店長教育の成果としてコストコントロールが徹底されてきたことから、下期計画を下回る見通しです。

当期利益につきましては、不採算店舗のスクラップ費用等の減少により、特別損失が下期計画を下回る見通しとなっていることから、前回発表数値を上回る見通しです。

この結果、前回発表の通期業績予想に対して、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに上回る見通しにあり、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。